

ロックル (大型張りブロック) 施工マニュアル

2024年11月



株式会社 総合開発

ロックル（大型張りブロック）

目的

本施工マニュアルは工事を円滑に行い、施工者の施工技術によりその性能を確保し、より安全で耐久性に優れた法面保護工を構築するための基本事項をまとめたものである。

適用範囲

本書は、ロックル（大型張りブロック）の構築について述べられたものであり本製品の施工にのみ適用する。

施工前の一般事項

現地の土質や地理条件に即した設計図書・施工計画書・工程表を作成し、事故防止のためこれらを各関係機関に提出し、地上及び地下構造物、樹木や地下水、交通機能などに損害もしくは機能の阻害を生じないように事前に協議し、その対策を決定する。

また、工事に伴う騒音や振動の防止のため施工機械の選定には適切な措置を講じ、付近の生活環境の保全に努める。

1. 基礎工

- ① 所定の寸法どおり床堀をおこないます。
- ② 沈下が発生しないように、基礎材を十分転圧します。
- ③ 基礎コンクリート打設においては、最下段ブロックを正確に敷設するため表面の仕上げを入念に行ってください。

2. 法面整形

- ① 法面を所定の勾配に整形する。

3. ブロック納入

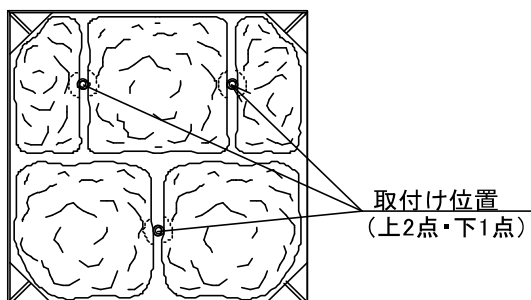
- ① スtockヤードはなるべく、整地された平場に設けて下さい。

4. ブロック敷設

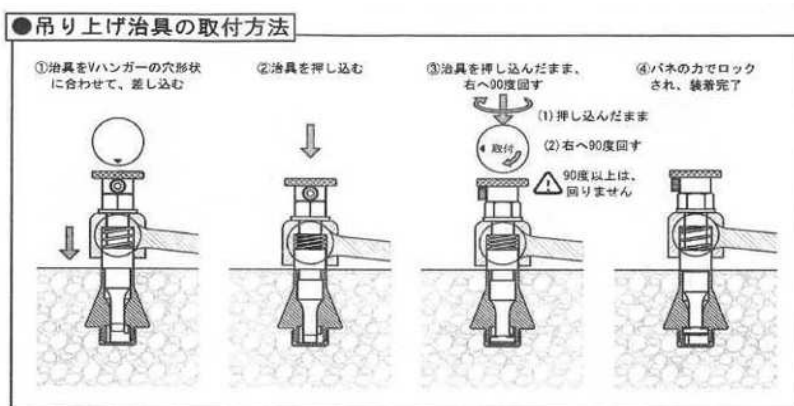
- ① 法面に裏込め材を敷設する。

※曲線区間等で出来た製品同士の隙間から、背面土砂が吸い出される恐れのある場合には、吸出し防止材を設置する。

② ブロックの所定の位置に専用吊金具（3ヶ所）を取り付ける。

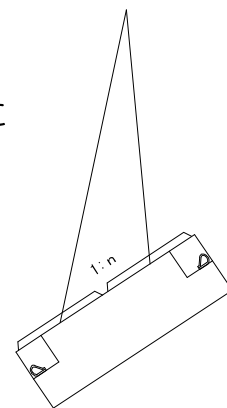


専用吊金具
NV20×70PTS(B)



③ 製品を吊る場合は、法面の角度に合わせて製品が傾くようにチェーンブロック等を利用し、前後の長さを変えて吊る。

④ 製品は3点吊りの2点を上にし、1点を下に所定の位置に高さを調整しながら据付る。

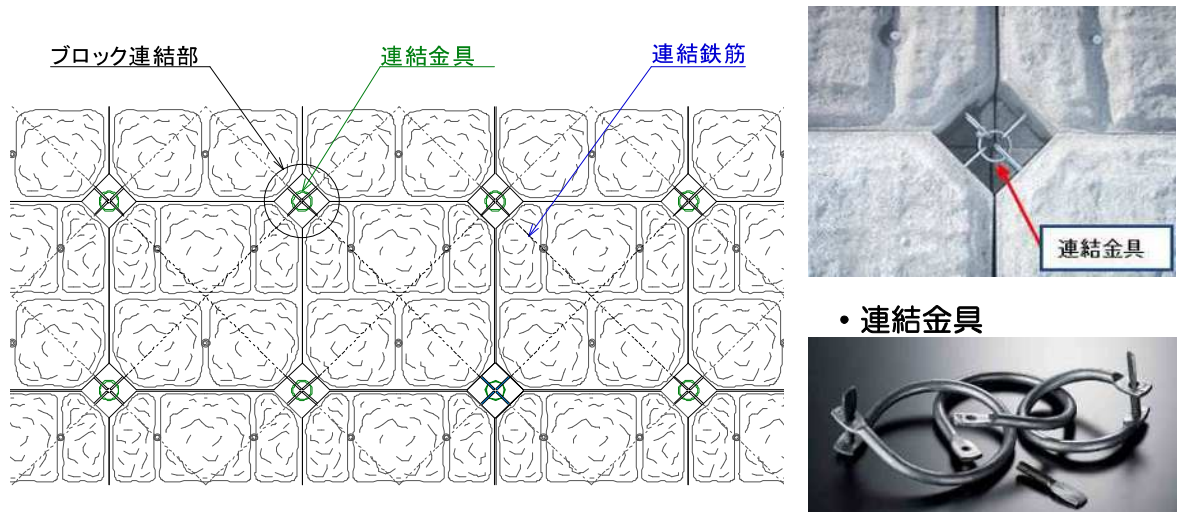


※下記注意事項を読んで十分に注意してください。

- 重機で吊り上げたまま走行しないでください。
- 専用吊金具は転置等には使用せず、据付のみご使用ください。
- 吊り上げ高さは必要最小限としてください。
- 不要な揺れや回転を防止する措置を講じて、不要な衝撃が掛からないようにしてください。
- 吊り上げ中に異常を感じたときはすぐに作業を中断してください。
- 摩擦を減らすためベアリングが内蔵されています。
異常音の発生や回転不良のものを使用しないで下さい。
- 吊り上げに撚りワイヤーを使用しないでください。
- 製品吊り上げ時には絶対にブロック下部に入らないで下さい。
- その他玉掛けの注意事項に則って作業を行ってください。

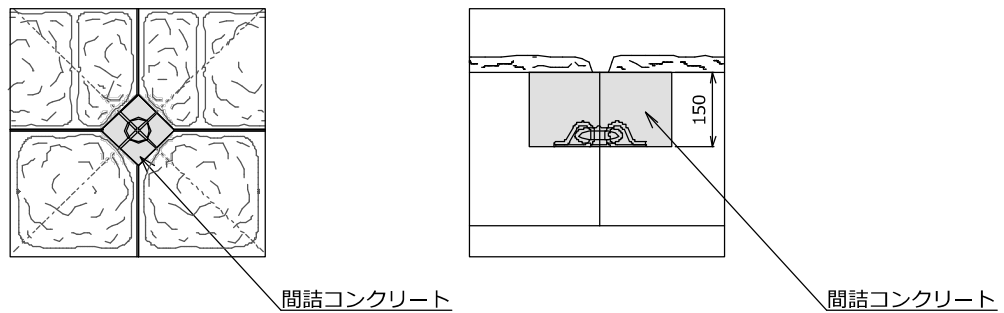
5. 連結

- ① 指定された所定の位置に、連結金具を用いて連結する。



- ② 連結箇所は間詰コンクリートで仕上げるか、間詰ブロックを設置する。

● 間詰めコンクリートの場合

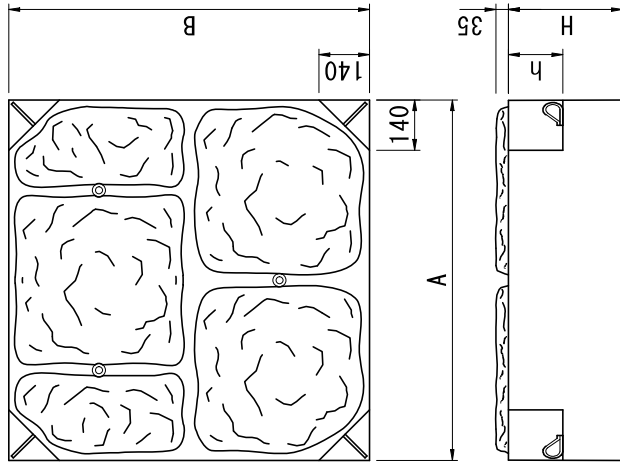


● 間詰めブロックの場合 (オプション品)

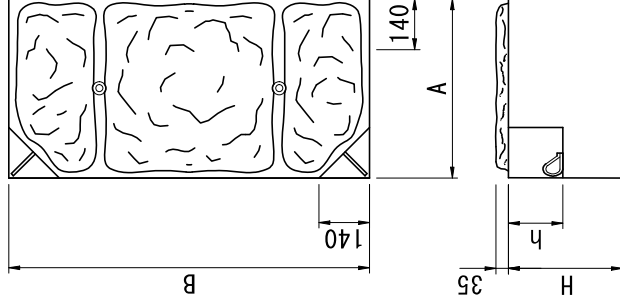
間詰めコンクリートを充填し、間詰めブロックを設置します。



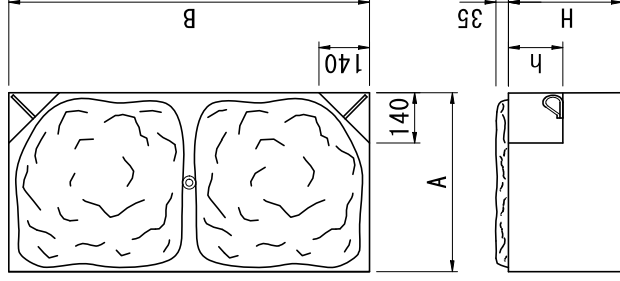
A 型



B 型1



B 型2



呼び名	参考質量 (kg)	コンクリート体積 (m ³)	寸法 (mm)			間詰コンクリート量 (m ³ /個)	備考
			A	B	H		
235型コンクリート	431	0.210	989	981	252	0.005	粗面コンクリート
B1・B2型	213	0.104	496	998	1252	0.002	
235型ポーラス	410	0.210	989	981	252	0.005	7号ポーラス
B1・B2型	202	0.104	496	998	1252	0.002	
350型コンクリート	664	0.324	998	998	1503	0.006	粗面コンクリート
B1・B2型	328	0.160	496	998	1503	0.003	
350型ポーラス	632	0.324	989	981	1503	0.006	7号ポーラス
B1・B2型	312	0.160	496	998	1503	0.003	
385型コンクリート	732	0.357	998	998	1503	0.006	粗面コンクリート
B1・B2型	365	0.178	496	998	1503	0.003	
385型ポーラス	696	0.357	998	998	1503	0.006	7号ポーラス
B1・B2型	347	0.178	496	998	1503	0.003	